

# 出資法人等経営状況報告書

## 1 作成年月日及び担当部署

作成年月日	令和5年8月24日	担当部署	農林水産部 農政課
-------	-----------	------	-----------

※以下は令和5年3月31日現在の内容です。

## 2 法人等の概要

法人名	公益財団法人 浦川原農業振興公社		
代表者	理事長 田鹿 敏行		
	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤	<input type="checkbox"/> 非常勤	<input checked="" type="checkbox"/> プロパー <input type="checkbox"/> 市兼務 <input type="checkbox"/> その他
所在地	新潟県上越市浦川原区顕聖寺 382 番地 1		
設立年月日	平成5年3月19日		
基本金	40,500 千円	市出捐割合	98.8%
設立目的	上越市浦川原区における農業の担い手育成、農作業の支援等を行うことにより、中山間地域の農業生産の維持並びに農地の効率的利用を図り、もって地域農業の振興に寄与する。		
主な事業	(1)高齢農家や兼業農家の農作業を支援する事業 (2)高齢農家や兼業農家の農地の管理耕作を通じて農地の保全を行う事業 (3)地域の担い手育成を図るため、農業から撤退する農家の農地利用調整を行う事業 (4)中山間地域等直接支払制度等による地域マネジメント活動への支援事業 (5)地域づくり活動や交流活動への参加による地域振興に貢献する事業 (6)公共施設等維持管理事業		

## 3 役員数

(単位：人)

	常勤	非常勤	計	内訳		
				プロパー	市兼務	その他
理事	1	6	7	7	0	0
監事	0	2	2	2	0	0
計	1	8	9	9	0	0

## 4 職員数

(単位：人)

	計	内訳	
		プロパー	市兼務
正社員	3	3	0
その他	0	0	0
計	3	3	0

## 5 事業実績（概要）

### 【令和4年度の経営状況】

經常収益は、国の農地利用集積円滑化事業による農地の賃貸借契約が満期を迎えたことに伴う貸付料収入の減少のほか、主要作物である米の作柄が良くなく、収入保険による補填があったものの、事業収益や補助金等の減少の影響が大きく、前年度と比較して1,204千円減の51,850千円となりました。

經常費用は、国の農地利用集積円滑化事業による農地の賃貸借契約が満期を迎えたことに伴う借上料の減少などにより、前年度と比較して3,318千円減の49,282千円となりました。

全体収支としては、当期一般正味財産増減額と当期指定正味財産増減額の合計1,846千円の黒字であり、正味財産期末残高は71,686千円となりました。

### 【令和4年度的主要な取組】

#### ○農作業支援事業

##### ・基幹農作業受託事業

小規模・高齢農業者を支援し、荒廃農地の発生を防止するため、次の農作業を受託しました。

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
耕うん	2.7 ha	3.3 ha	3.1 ha
代かき	3.2 ha	3.6 ha	3.1 ha
田植	3.0 ha	3.1 ha	2.9 ha
溝切	1.6 ha	1.2 ha	0.9 ha
刈取	8.6 ha	10.3 ha	8.9 ha
合計（延べ面積）	19.1 ha	21.5 ha	18.9 ha

※ 担い手等への再委託分含む。

##### ・地域農業活性化事業

担い手への農地集積を推進するとともに、受け手がない農地は公社が管理耕作を行いました。

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
借入面積	55.5 ha	44.7 ha	32.5 ha
公社耕作面積 （うち水稲作付面積）	19.8 ha (15.4 ha)	19.6 ha (17.2 ha)	22.0 ha (16.4 ha)
水稲収穫量 （10a当たり収量）	74t (8.1 俵)	89t (8.6 俵)	83t (8.5 俵)

#### ○公共施設等維持管理事業

公園や駅舎の除草作業、国県道路の街路樹等の管理、市道や林道の除草作業を行いました。

#### ○育苗センター事業（えちご上越農業協同組合からの受託事業）

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
播種枚数	39,000 枚	43,000 枚	39,000 枚

#### ○地域マネジメント組織の事務を支援

集落を超えて地域の課題に取り組む組織（中山間地域等直接支払交付金の集落協定など）を支援しました。

6 財務状況（税抜）

（単位：千円）

項 目		令和2年度	令和3年度	令和4年度
		自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日	自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日	自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日
正味財産増減計算書	一般正味財産増減の部			
	経常収益	50,996	53,054	51,850
	基本財産運用益	4	1	1
	特定資産運用益	0	0	0
	受取会費	0	0	0
	事業収益	44,691	38,971	36,287
	受取補助金等	5,657	13,598	12,537
	その他経常収益	644	483	3,025
	経常費用	54,121	52,600	49,282
	事業費	50,653	49,329	46,395
	管理費	3,468	3,271	2,887
	当期経常増減額	△3,126	453	2,568
	経常外収益	59	0	300
	経常外費用	0	0	0
	当期経常外増減額	59	0	300
	税引前当期一般正味財産増減額	△3,067	453	2,868
	法人税等	712	717	836
	当期一般正味財産増減額	△3,779	△263	2,032
	一般正味財産期首残高	32,573	28,794	28,531
	一般正味財産期末残高	28,794	28,531	30,563
	指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	△186	△186	△186	
指定正味財産期首残高	41,680	41,494	41,308	
指定正味財産期末残高	41,494	41,308	41,122	
正味財産期末残高	70,289	69,839	71,686	
項 目		令和3年3月31日現在	令和4年3月31日現在	令和5年3月31日現在
貸借対照表	資 産	71,924	72,507	73,787
	負 債	1,635	2,667	2,102
	正味財産	70,289	69,839	71,686
	指定正味財産	41,494	41,308	41,122
	一般正味財産	28,794	28,531	30,563

※ 金額については、千円未満を四捨五入して表示しており、端数処理の関係上、決算書及び計算結果と一致しない場合があります。

## 7 市からの財政支出等

### (1) 委託額（税込）

（単位：千円）

内 訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
① 公園等管理委託料	2,491	2,918	2,607	
② 市道、林道草刈料	2,382	495	2,172	
合 計	4,873	3,413	4,779	

### (2) 財政援助額（税込）

（単位：千円）

内 訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
① 補助金（助成金）	2,802	2,741	4,004	
運営費補助金	1,350	1,350	1,350	
中山間地域等直接支払交付金	1,109	1,231	1,587	個別協定分と集落協定の個人配分を合算
農業経営所得安定対策緊急助成事業補助金	0	0	201	市補助事業（6月補正予算）
エネルギー価格等高騰支援金	0	0	100	市補助事業（10月補正予算）
中山間地域振興作物生産拡大事業補助金	343	0	766	
農産物等販売促進事業補助金	0	160	0	
② 貸付金	0	0	0	
③ 損失補償	0	0	0	
④ 債務保証	0	0	0	
合 計	2,802	2,741	4,004	

## 8 市以外からの補助金・助成金等

### (1) 受給額（税込）

（単位：千円）

内 訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
① 水田活用の直接支払交付金	1,981	8,228	6,341	国
② 畑作物の直接支払交付金	490	493	481	国
③ 新市場開拓に向けた水田リノベーション事業	0	1,448	1,206	国
④ 作付転換支援助成金	0	372	0	国
⑤ 土づくり資材助成金	178	56	46	J A
⑥ 肥料高騰緩和対策助成金	0	76	271	J A
⑦ 少雪農業用水確保緊急対策助成金	20	0	0	J A
合 計	2,669	10,673	8,345	

## 9 今後の経営計画等

### (1) 次期事業計画

米価の下落、資材や燃料の高騰など、経営環境が厳しさを増す中で、公益財団法人として、定款に定める目的に基づく事業展開を行い、着実にその責務を果たし、地域の期待と信頼に応えていきます。

項 目	令和 5 年度計画	令和 4 年度実績
農作業支援事業（農作業受託事業）	25.3 ha	18.9 ha
農地保全事業（公社耕作面積）	24.5 ha	22.0 ha
公共施設等維持管理事業	10,674 千円	13,519 千円
育苗施設作業受託収益	4,800 千円	7,604 千円
公共施設等管理作業受託収益	4,874 千円	4,798 千円
道路等除雪作業業務受託収益	1,000 千円	1,117 千円

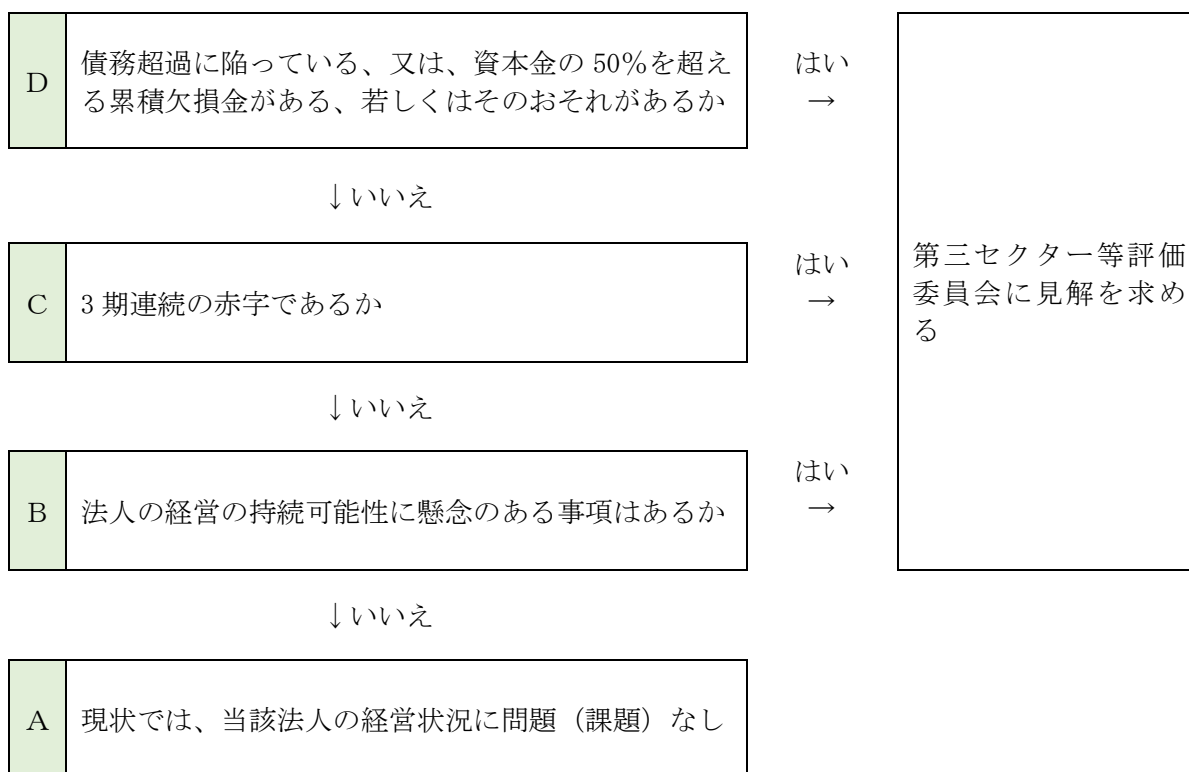
### (2) 中長期経営計画

- 全ての事業において経費の節減に努めるとともに、常に作業の効率化と収支のバランスを考慮しながら事業に取り組みます。
- 管理耕作事業では、公社の耕作面積を拡大するとともに、補助金を考慮した収益性の高い品種の栽培を行います。また、高品質米の安定生産と直接販売の拡大により、収入の増加を図ります。
- 収益事業では、区外の公共施設等の管理作業を受託できるよう検討するとともに、切り餅の加工販売や個人を対象とした冬囲い等の作業委託の増加を図ります。

10 令和5年度 経営状況の分析・評価

(1) 第三セクター等の経営状況の分析・評価のフローチャート

※「第三セクター等に対する関与方針」から抜粋



フローチャートによる評価基準		備考
A	経営状況に問題（課題）なし	引き続き経営努力を行う
B	法人の経営の持続可能性に懸念がある	経営健全化の可能性について、第三セクター等評価委員会に見解を求める
C	当期純利益が3期連続の単年度赤字である	
D	債務超過に陥っている、又は、資本金の50%を超える累積欠損金がある	

フローチャートによる評価	A	→ BからD評価の法人は(2)へ
<p><b>【特記事項】</b>                  運営費補助の額よりも正味財産の増加額の方が大きく、運営費補助がなくても黒字となることから、経営を持続できる収支構造と判断し、A評価とした。</p>		

- ・ 非営利法人においては、累積欠損金という概念がないため、初期の正味財産に対する減少分を累積欠損金と読み替える。
- ・ 「3期連続の赤字」の判断においては、「当期一般正味財産増減高」と「当期指定正味財産増減高」の合計がマイナスとなる場合は、赤字と読み替える。

## 1 1 令和4年度 第三セクター等評価委員会の分析・評価に対する対応状況

令和4年度 第三セクター等評価委員会の分析・評価【概要】
① 広告宣伝費や委託費などに着目し、新たな投資がどのように事業の数値として表れるのか、定期的に確認・共有する機会を設けるべき。 ② 高品質米を安定的に生産し、ブランド戦略に取り組むとともに、インターネット販売など、多様な販売方法の確立に取り組んでいくべき。 ③ 現在実施している切り餅の加工は、差別化を行い、冬季の収益源として成り立たせるべき。
第三セクターによる対応状況
① 市とともに、定期的に中期経営計画に基づく取組の進捗状況を確認し、インターネット販売の効果、加工委託の取組の効果などを検証している。 ② 上越特産市場への登録、ふるさと納税を入口にした新規顧客の開拓、インスタグラムの開設などに取り組んでいる。 ③ 切り餅の販売について、自社生産の餅米を加工会社に出し、委託加工をして販売をしている。
市担当部署による対応状況
① 定期的に中期経営計画に基づく取組の進捗状況を確認し、経営改善に向けた方策を公社とともに検討した。